

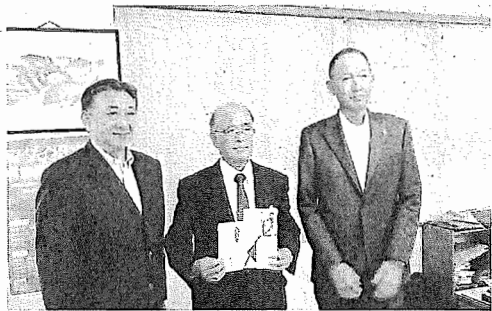
神奈川県栽培漁業協会に寄付金贈呈

神奈川トヨタ商事

【横浜】KITグループ（上野健彦代表）の神奈川トヨタ商事（黒田圭次郎社長）は、水産資源の育成に役立ててもらおうと神奈川県栽培漁業協会（三浦市三崎町）に10万円を寄付した。黒田社長が同協会を訪れ、今井利為専務理事に寄付金を手渡した。

同社の寄付は今回で6回目。販売するプレジャーボートのユーザーがフィッシングにボートを利用していること

を考慮し協会への寄付を行っているもの。同協会では、採



左から上野代表、今井専務理事、黒田社長

卵から稚魚や稚貝に育て、天然の水域に放流する『栽培漁業』という事業を行っている。寄付された寄付金はこうした活動の事業資金として活用される。当日は、今井専務から気候変動などの影響により漁場が変化している状況や、協会が放流した真鯛やヒラメの漁獲量の推移などの報告を受けた。これを受けて同社では、今後も資源保護の下支えとなっている協会に対する支援を継続していく意向を伝えた。また、上野健彦KITグループ代表も個人として寄付金を寄贈した。